

〒 789-0583

高知県香美市土佐山田町平山 1748

天理教繁藤大教会

TEL 0887-57-9207 / FAX 0887-57-9246

繁藤月報

「何を言うか」ではなく「誰が言うか」

先日、天理でお会いしたあるご婦人が、

「五月の婦人会総会で、あなたの奥さんの挨拶に感動したの。私もまだまだ頑張ろうって思ったの！」と嬉しくなる声をかけてくださりました。

ただ、包み隠さず言うとは、妻は人前に立つのが苦手、お話上手とはとても言えません。婦人会総会の三ヶ月前くらいから挨拶どうしよう…と悩み続け、お話の原稿づくりも手助けをしました。自分でもなんですが、話し方だけいえば、私の方がよっぽど上手だと思います。しかし妻のスピーチは人を



「ラベンダー」
画 池田澄子（佐岡分教会ようぼく）

感化させものであったようです。そのご婦人はあまりに熱を込めて感動したとおっしゃるので、妻を誇らしく思う気持ちと同時に、そのとき私も一応スピーチしたんだけどなあ…と少し悔しさを覚えました（笑）。

コミュニケーションは大きく二つに分類されると思います。それは言語によるものと非言語のもので、言語によるものは、この文章もそうですし、会話で発する言葉などです。シンプルにいうと言葉自体の意味といえます。逆に非言語のものをノンバーバルコミュニケーションといいます。いわゆる見た目（容姿やジェスチャーなど）であったり、匂いや手触り、声のトーンなども含まれると思います。ある研究では、感情や気持ちを伝えるコミュニケーションにおいて、言語情報よりも、見た目や表情などの視覚情報、声や口調などの聴覚情報の方がよっぽど大きな影響を及ぼすという結果がでています。

最近、画面越しのビデオ会議ばかりで人間関係が希薄になり…とか、マスクで相手の感情が読み取れず子どもの発達に影響が…などのニュースや声を見聞きするのも、まさにコミュニケーションにおいて非言語の部分の重要性が再認識されているのでしょう。

冒頭のご婦人の話に戻り、妻の話の何がそんなに良かったのか尋ねてみると、

「一生懸命でひたむきな姿に感動した」とのことです。緊張して声や足が震えていたのかもしれない。顔が赤くなったり涙がでていたのかもしれない。何が要因かは分かりませんが、どうやら話の内容や話し方よりもやはり大切なものがあるのかもしれない。

教祖の逸話篇に、

「心の澄んだ人の言う事は、聞こゆれども、心の澄まぬ人の言う事は、聞こえぬ。」

とこれ以上ないほど、端的にお示しくださっています。私なんかついつい、誰に、何を、どう伝えるかということばかりに意識が向きます。もちろん話す内容や話し方も重要です。しかし饒舌にキレイな言葉を並べるだけでは相手の心に届かない。この教祖のお言葉は、「何を言うか」よりも、「誰が言うか」ということを考えさせられます。そして、「心を澄ます」という点で、もっと踏み込んでいうと、何をするか (Doing) ではなくて、どう

在るか (Being) が肝心であるとお示しくださっているように感じます。私たち信仰者は「伝える」から「伝わる」へという転換を目指していかなければなりません。あらためて私自身を振り返ると、まだまだ小手先でどうにかしようと考えてばかり。成人の道のりは長そうです。

最後になりますが、今月、大教会より全体的ようぼくに手紙をお出しします。

目的は、一斉巡教に來られていない方も含め、教祖百四十年祭の意義を一人でも多くの人に伝え、ともに心の成人を進めることにあります。各教会長はじめ布教所長、親御さんなど、お渡しする側の方は、このお手紙を「教祖からのお便り」と思っ心て心を込めてお届けいただければ幸いです。

立教百八十六年七月一日

天理教繁藤大教会長

坂本輝男

直接ご相談させていただきます。

【神殿講話】

(七月) 為 田 紀久男

【修養科生並びにおさづけの理拝戴者講話】

(七月) 藤 田 一 憲

【教会長神殿当番】

(七月) 田久生・北大津・繁山

(八月) 関 守・高 昭・桂 濱

【詰所教養掛】

(七月) 空 閑 一 将

(八月) 為 田 基 紀

【ひのきしん】

○婦人会詰所ひのきしん

七月二十五日～二十六日 (西田川)

七月二十七日～八月六日

(こどもおぢばがえり期間)

こどもおぢばがえり期間中も、婦人会詰所ひのきしんを勤めさせて頂きます。

ひのきしんの直属教会への割り当ては、

【主教百八十六年六月月次祭 祭文】

これの繁藤大教会の神存にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教
 繁藤大教会長坂本輝男慎んで申し上げます。

親神様の日夜絶え間ない御守護と、御存命の教祖のお導きのまにまに、日々結
 構に成人の道をお連れ通り下さいます御厚恩の程は、誠に有り難く勿体ない
 極みでございます。その中、今日の吉き日は、これの繁藤大教会に御許し頂いて
 おります、月々の御祭日でございますので、只今から、おつとめ奉仕者一同心を一
 つに合わせ、陽気に座りづとめてをどりを勤めて、主教百八十六年六月の月次
 祭を執り行わせて頂きます。御前に寄り集った信者一同、ともに朗らかにおう
 たを唱和し、日頃賜る厚きお恵みに御礼申し上げ、尚一層の成人をお誓いさ
 せて頂きます。

昨年の創立百三十周年記念祭・七代会長就任奉告祭より早一年が経ちまし
 た。そして年祭活動一年目の今、この先も繁藤の道が伸び栄え、百年先にも続
 いていく教会、信仰へと、成人の歩みを進めるべく、その土台作りでもある人材の
 育成、縦の伝導に長期思考で取り組んでいく所存でございます。

つきましては本日、少年会本部より麴町大教会長の久保一元委員をお招き
 して、縦の伝導講習会をつとめさせて頂きます。お仕込みいただくおらばの声を
 胸に浴め、活動方針の「明日に希望を、今日を陽気に」という心で、未来に向かっ
 て人材の教化育成につとめていく決意でございます。

何卒、この心定めをお受取り頂き、親神様にもお勇みくださいますよう、また
 世界一れつ皆兄弟、神人和楽の陽気つくめの世の状へとお導きくださいますよ
 う、一同と共に慎んでお願い申し上げます。

《繁藤大教会立教百八十六年 六月月次祭 祭典役割》

祭主	大教会長	立花真一郎
指図方	河村道興	佐々木 恵
扨者	村上英士	前田 豊
扨者	佐藤成彦	田村省悟
賛者	田村聡佐	村上由高
賛者	空閑慶吾	空閑慶吾
座りづとめ	大教会長	てをどり前半
大教会長	空閑一将	てをどり後半
前大教会長	田村聡佐	佐藤節幸
田村辰久	土居道久	村上由高
大教会長夫人	佐藤文代	藤田 誠
前会長夫人	武市まち子	佐藤明子
黒石伸子	為田賢子	黒石美佐
田村久徳	藤田一憲	村上 綾
村上英士	川田節夫	佐藤成彦
安部道郎	宇山基紀	秋月真一郎
佐藤栄治	田村省悟	空閑慶吾
為田紀久男	伊藤正福	宮田教一
藤田憲明	為田基紀	前田 豊
坂本久徳	立花真一郎	藤田善典
河村道興	空閑一教	秋月英希
宮田孝道	佐々木 恵	黒河明大
村上美栄子	田村純代	立花孝一
藤田洋美	田村睦美	宮田みなみ
佐藤順子	秋月孝子	田村育与
久保一元先生		空閑真理代
神殿講話		

【登殿参列】

今年五月より、教祖百四十年祭に向けて、教会長の登殿参列が始まりました。繁藤としての最初の登殿参列が先月あり、左記の十名の教会長様方が登殿参列されました。



教祖140年祭 教会長登殿参列 (令和5年6月26日)

紋湧 藤広 武富士 城幡 児島郷 城下
胆澤 新居浜 未見 飯武

登殿参列を終えて (新居浜分教会長)

まじかで、かぐらづとめを押し親神様の人間創造のパワーを感じさせて頂きました。又、登殿参列をして下さったご本部、前日会食の場を設けて頂いたり、日頃から色々とお掛け下さる大教会長様や、その他全ての親心に対し感謝の気持ちを新たにさせて頂きました。教祖年祭に向け、自分出来る事を足元から勤めさせて頂こうとお誓いさせて頂きました。

【役員合宿】

来る、8月25日詰所にて左記の要項にて、役員合宿を行わせて頂きます。役員の皆様にはご参加頂きますようお願い申し上げます。

記

日時 8月25日午後1時

場所 詰所

内容 「話し方勉強会」

講師 河原町大教会長

深谷善太郎先生

※対象は役員ですが、先生のお話は、教会長であれば拝聴(お供え二千円)することが出来ます。

【少年会】

○こどもおぢばがえりについて

こどもおぢばがえりまで1カ月を切りました。それぞれの教会では子供たちの勧誘や団参計画にお心配りを頂いていることと思えます。7月1日10:00~20日24:00までの間に、配布しました教会IDを使って事前申込みが必要です。こどもおぢばがえりオフィシャルサイトの「引率の方へ」から申込み方法の動画が見られます。参考にしてお申し込み下さい。教会IDが分からない教会は団長までお問い合わせ下さい。



オフィシャルサイト

○団長会での連絡事項をお伝えします。

- ・お茶所は設置されません。麦茶のみの提供です。お塩はありません。
- ・行事会場の受付は当日各会場での受付となります。バラエティー186の受付方法が発表されました。(別紙参照 教会のみ)
- ・各行事会場の混雑状況を「オフィシャルサイト」で30分おきに更新する予定
- ・各駐車場の混雑状況も「オフィシャルサイト」から確認が出来ます。
- ・救護所は設置されますが、各隊で「熱中症対策」の徹底をお願いします。
- ・今月の「リトマガ」にシークレットチケットがついています。期間中「リトルマガジンワールド」で1グループ10名まで参加出来ます。

○夏休みこどもひのきしんについて

本年も昨年同様、「夏休みこどもひのきしん」を実施します。

夏休みは子供たちにとって、とても楽しいものですね。そして、普段はできない経験をすること、一段と成長できる大切な期間でもあります。「夏休みこどもひのきしん」は、そんな夏休みの間に、子供たちが楽しみながらひのきしんに励めるよう、後押しをすることを目的とした取り組みです。

各教会に「ひのきしんカード」10枚と、「ほんわか村オリジナルシール」見本をお配りします。ご活用頂き、子供と一緒に楽しみながらひのきしんに励ませて頂きましょう。

【婦人会】

○みちのだいおはなし会

・日 時 九月二十六日(火)

午後一時～二時

・場 所 南右第二棟 陽気ホール
宇田まゆみ (敷島支部会員)

「心豊かに美しく生きる道を求めて」

※どなたでも入場できます。託児はありません。

駐車場には限りがありますので、なるべく周辺
駐車場を利用して頂くか、徒歩でお越し下さい。

【青年会】

おちばで開催される青年会総会について、

本年は十一月二十五日(土曜日) 十一時より
本部中庭での開催に変更となりました。現在、
後夜祭等の催しも計画中とのことですが、詳細は追ってご連絡いたします。

【学生会】

学生生徒修養会「高校の部」が、8月11日
から15日までの日程で開催されます。申込み
が今月25日までですが、定員になりしだい締め
切られますので、お
早めにお申し込み下
さい。

お問い合わせ申し
込みは、大教会 学生
担当委員会(為田)
までご連絡ください。



高校の部紹介ページ

【詰所活用委員会】

今年、新たに立ち上がった当委員会では、
繁藤詰所をいろんな方が心地よく、大切に長
く利用していただけるように、毎月話し合い
を重ねています。

そこでこの度、詰所一階にアイデアボック
スを設置いたします。教会長さんだけでなく、
ご高齢の方の引率や、子ども連れでの参拝な
ど、色々なお立場
の方の意見を頂戴
したいと思いま
す。繁藤につなが
るみんなの詰所の
ことを一緒に考え
ていきましょう！
スマートフォンからのアイデアもお待ちして
います。



スマホで投函也大歓迎

まずは手始めとして、ベッドの設置を検討
しています！教会やご自宅に眠っている折り
たたみベッドはありませんか？ぜひ詰所に
寄付ください。喜んでくださる方がたくさん
いらつしやいます。誠に勝手ながら、長く大
切に使わせていただきたくないので、次の条件に
合ったものをよろしく願っています。

- ① 折りたためるもの
- ② きれいなもの

なお、ご寄付くださる前に必ず詰所に連絡し、
ご相談いただけますようお願いいたします。

【計報】

児島郷分教会三代会長夫人、藤田温子刀自
が六月七日お出直になられました。
享年 八十七歳

【をびや】 一件

【繁藤カリ教会】

コロンビアへの繁藤の道は、昭和 35 年 (1960 年) 筒井雅夫氏がコロンビアに渡つた事から始ります。その後ご苦労の中、布教所を開設され、平成 15 年 (2003 年) 10 月 26 日に教会設立の理をお許し戴かれました。現在は息子さんの陽喜氏が 2 代会長を勤められています。現在も専修科生が 2 名、又、先月は修養科を終了された方がおられ、これまでもたくさんの方が、おちばで修養されています。この写真は、先月 6 月の月次祭の様子です。

又、次のページの写真は、その時の参拝者の皆さんの集合写真と、毎週水曜日に、をてふりと鳴物の練習や、教理勉強をされておられ、その時のをてふり・鳴物の練習の様子です。

今年は、教会創立 20 周年を迎えられ、11月5日には記念祭を勤められます。



【修養科修了（スペイン語クラス）】

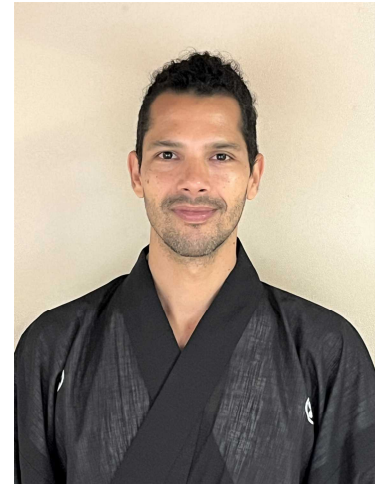
繁藤カリ サンティアゴ・ロハス

『実り』

この修養科中に様々なことを経験しましたが、その中で一つ、「実り」と題してお伝えしたいと思います。

日本へ到着して間もなく、数々のことに驚かされました。ここでは隅々までサポートが行き届き、空港到着後には多くの人々が出迎えてくれ、ありがたいサポート受けることができました。繁藤詰所の藤田先生及びちひろ夫人、ご家族、そして私が日本の生活に順応できるよう、コロンビア人の先輩であるウリエルとマリア、また教養系の先生や同期の修養科生もアットホームに感じられるように手伝ってくれました。毎回、丁度のタイミングで思いがけず誰かが手を差し伸べてくれ、助言だったり、プレゼントをもらったり、また激励の言葉をかけてくれたりしていました。とても感謝していますし、自分自身が恵まれていると思っていました。一方で、

どうしてこんな出来事が起こるんだろうか、地球の反対側にいるのに、先程述べた人たちに加え、全く知らない人も同様に接してくれることに疑問を感じざるを得ず、運が良い、偶然としかその時は思えませんでした。その後、修養科の半分を終えた頃、先生が修養科生に課題を一つ出しました。それは自分たちにとって誰か大切な人に修養科での出来事を書いて伝えるというものでした。尚、伝達の方法は郵便で手紙として書くというものでした。その時、過去のある出来事がはっきりと思い出されました。数年前、私がコロンビアにいて、妹のアンドレアが日本にいた頃、彼女から手紙を受け取ったことがあったのです。その手紙は今も大切にしているのですが、それはあるメッセージが印象的だったからです。アンドレアの手紙には、私が子供の頃教えたことへの感謝のメッセージが書かれていました。それはきっとアンドレアが日本にいた際に、私や家族からの彼女への愛情に気づいたからでしょう。その時の記憶や感情が授業中に一つに繋がった気づきとしてやってきました。私はここでこんなに自分のことをサポートしてくれていた人たちのことを知らなかったに関わらず、みんな私のことを知ってくれていたのです。無論、直接は知らずとも、アンドレアを通じて私のことを知っていたんです。アンドレアが蒔いてくれたすべての努力や良き行いと、お道につながる皆さんが私にしてくれた沢山の良い行動は関係性があったことに気付かされたのです。きっとアンドレアも私が過去に彼女に「蒔いて」あげた沢山の行動や努力が、日本で彼女が受けた良いことと、実は大きな関係性があったことに気づいてくれたに違いありません。私達が時空を超えて繋がり合う、見えない絆のような強いつながり、関係性があり、それは自分たちのより良い行動によってできたものであることに気づかされたのです。私達の善き行いは丁寧に蒔かれた種のようなものであり、いつの日か私達に木材として利用できる良い木へと成長することを願っていると同様のものでしょう。そしてその木々というのはまた誰かが植えたものです。おふでさき号外に、「にち／＼に心つくしたものだねを 神がたしかにうけとりている」、「しんぢつに神のうけとるものだねわ いつになりてもくさるめわなし」とあります。私達の行動や振る舞いの影響は私達に様々なつながり、関係性もたらしてくれています。今日私達が蒔いた種は将来の実りになります。修養科での経験から学ばせてもらったことは良い種を蒔き続けるということです。それは自分のためでも、自分が知っている人だけではなく、私が今回多くの人々がまいてくれた種の恩恵を受けたように、今回の種が私の知らない多くの人たちに届くと思っています。だから私は、このような形でこの経験をもたらししてくれたすべての人々のサポートに感謝していますし、皆さんとともに今後も種を蒔き続けていきたいと思っています。そしていつか種は芽を吹き、良い実りをもたらしことを心より願っています。



2023（立教186）年6月15日

奈良県天理市



教祖140年祭 三年千日の活動方針

明日に希望を、 今日を陽気に

～ひながたを心に、プラスワンの誠真実を～

実践目標

教会に人をお連れし、たすかる道を伝えよう
誠の理を、日々に働かそう
おさづけの取り次ぎ、チラシ配りの推奨
天理カードの登録推奨（目標 10,000人）

教えに親しみ、ひながたを心の頼りに明るく歩もう
信者の葉を毎日拝読する
ご守護に気づき、身近な人に信仰を伝えよう
お道と社会に貢献できるようほくを育てよう

ふしから芽が出るご守護をいただこう
心を定め、日々の理づくり・徳積みに励もう
「声は肥」旬を外さないよう+1の声かけを
月次祭を賑やかに勤めよう（仕切り月の実施）



繁藤公式 LINE で講話やブログなどを配信しています。
ぜひご登録ならびにご紹介をお願いします。



天理教繁藤大教会
SHIGETO